

「サッポログループ環境ビジョン 2050」を策定 ～大地が育む自然の恵みに感謝し、サッポログループ社員一人ひとりが、積極的に環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。～

サッポロホールディングス（株）は、このたび、2050年を見据えた「サッポログループ環境ビジョン 2050」を策定しました。サステナビリティにおける環境保全の目指す姿を定めたビジョンの下、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向け、今まで以上に取り組みを推進していきます。

2015年のCOP21で採択された「パリ協定」や国連で採択された「SDGs」（持続可能な開発目標）などを背景に、持続可能な社会の構築が求められています。酒類・食品・飲料事業をグローバルで展開し、不動産事業も国内で展開しているサッポログループは、事業の持続的成長のためにも環境保全に対し長期的視点からのアプローチが必要であると考えました。従来から取り組んでいるCO₂排出量削減は2050年までに排出ゼロを目指し、また、容器包装や水資源など事業に関わる全ての資源の3R（注1）に努めます。食品ロス削減や原料農産物の気候変動リスクに対しても、サッポログループの100年を超える歴史で培った育種技術を用いて課題解決に挑みます。

記

【サッポログループ環境ビジョン 2050】

大地が育む自然の恵みに感謝し、サッポログループ社員一人ひとりが、積極的に環境保全に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社拠点でのCO₂排出量ゼロを目指します。 ・ 自社拠点以外のバリューチェーンにおけるCO₂排出量削減に努めます。
循環型社会の実現	グループ全体で、事業に関わる全ての資源の3R（注1）に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> - 循環型社会に対応した容器包装の100%使用を目指します。 - 工場での水使用量削減に継続的に努めます。
自然共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大麦・ホップの研究開発を通じて持続可能な調達に貢献します。 ・ 持続的に自然と共生できる豊かな時間と空間を感じるまちづくりに貢献します。

（注1）Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRの総称。

具体的取り組み内容は以下の通りです。

1. 脱炭素社会の実現

さらなる省エネルギーの推進や再生可能エネルギー活用などの取り組みを進め、国内外の自社拠点で2050年CO₂排出量ゼロ（カーボンニュートラル）を目指します。まずは2030年までに2013年比で20%削減に取り組みます。また、原材料や物流など自社拠点以外のバリューチェーンにおけるCO₂排出量削減に努めます。

2. 循環型社会の実現

<容器包装>

循環型社会に対応した容器包装の100%使用を目指します。まずは容器包装のリデュース（軽量化・簡素化）や再生可能材料利用の拡大を進めるとともに、社外との連携・協調を深めていきます。

<水資源>

生産工場での水使用量削減に継続的に努めます。まずは2030年までに2013年比で10%削減に取り組みます。また、国内外での水リスクへの対策を実施します。

<廃棄物>

廃棄物再資源化率の向上に努め、主要工場では100%を実現します。外食店舗、食品流通における食品ロスの削減に努め、外食事業では2024年までに再生利用等実施率50%を実現・継続します。食品流通における削減では、サッポロビール(株)の育種の取り組みによる大麦開発、製造・保管・配送時の工夫など様々な品質向上の取り組みのもと、同社商品の賞味期限適正化を図ります。

3. 自然共生社会の実現

酒類事業では、大麦・ホップの持続可能な調達を目指し、育種技術で気候変動に対応可能な特性を持つ大麦・ホップを開発します。不動産事業では、自然と共生できる豊かな時間と空間を感じるまちづくりとして、まずは恵比寿ガーデンプレイス、サッポロファクトリーを中心に、近隣生活者に自然と共生する暮らしを提供します。

◆参考：サッポログループの環境保全に関する方針や活動

サッポログループ環境基本理念、サッポログループ環境基本方針

<https://www.sapporoholdings.jp/csr/earth/environment/philosophy/>

食品ロス削減にむけてビールテイスト製品の賞味期限を延長（2019年10月8日）

https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000011586/

「サッポログループ容器包装ビジョン」の策定（2019年7月26日）

<https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8479>

軽量化したビール用缶蓋が「第43回木下賞」を受賞

～アルミ使用量削減で年間最大約1,200トンのCO₂削減効果～（2019年6月18日）

https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000011223/

以上